

第2期データヘルス計画中間評価

1 趣旨

平成 30 年度に「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を目指し、第2期 磐田市データヘルス計画を策定し推進してきた。

今年度は3年目を迎え、現行計画の施策や事業を見直す時期となり、今後さらなる改善のため指標や目標の検討を行った。

2 中間評価による見直し

現計画では、計画全体の目標として掲げている「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」について、具体的な評価指標が定められていなかった。したがって、今回の中間評価において、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」の評価指標として下記の2項目を新たに追加した。

具体的な評価指標を定めることで計画全体の成果を計り、更なる「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を目指す。

【見直し前】

評価指標なし

【見直し後】

指標		目標値	ベースライン	H29	H30	H31
健康寿命の延伸と 健康格差の縮小	第2号被保険者の要介護認定率 の増加の抑制	0.38%	0.33%	0.30%	0.32%	0.33%
	お達者な人の割合の増加	92.70%	92.20%	92.30%	92.55%	92.85%

3 各指標の進捗および評価

別紙「データヘルス計画の評価・見直し整理表」を参照

4 最終評価に向けて

現状の保健事業の成果が「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」の結果に結びついているため引き続き健診受診率向上や重症化予防事業を推進する。

今後、健診や医療費のデータ分析し各事業の評価をすることで効果的かつ効率的な保健事業に繋げていく。